

基本目標 1 日田市における安定した雇用を創出する

新たな雇用の創出数（累計） ↓ 441人 ↓ 89.63%

第1次産業の競争力を高める

- I 農林業を支える人材の確保・育成
 ◆意欲的な後継者や新規就農者等への支援
 ◆営農指導の強化
 ◆林業労働者の安定雇用のための事業体への支援
 ◆国の林業研修施設等の誘致

新規就農者数（累計）	↑ 43人	↑ 89.58%
集落営農組織法人数	↑ 9団体	↑ 12.50%
新規林業就業者数（累計）	↓ 27人	↓ 61.36%

- II 農水産物・農水産加工の生産力・販売力の向上
 ◆主要農水産物の生産拡大等によるブランド強化の推進
 ◆ハウス等の施設園芸の産直野菜生産の拡大
 ◆6次産業化の支援
 ◆主要都市圏での販売促進や広報活動による「ひたブランド」の確立

梨年間輸出量	↑ 100.4 t	↑ 41.83%
わさび年間生産量	↓ 45.6 t	↓ 91.20%
内水面資源生産量	↑ 10.0 t	↓ 105.26%
農産加工の新商品年間開発数（累計） 新	4個	200.00%
産直野菜年間販売額	↑ 1,164 百万円	↓ 100.34%
日田市アンテナショップ大丸福岡天神店での年間売上額	↑ 106 百万円	↑ 106.00%
市外での物産展等への年間出店事業者数	↑ 28社	↓ 186.67%

- III 森林・林業・木材産業の再クラスター化の推進
 ◆地域一体となった日田材のブランド化及び木材関連産業の振興
 ◆日田材の需要拡大対策の推進
 ◆市有林や未利用森林資源の有効活用

木材・木製品製造業（家具を除く）年間出荷額	↑ 15,674 百万円	↓ 101.91%
乾燥木材年間生産量	↑ 84,432 m ³	↑ 116.75%
家具・装備品製造業製品年間出荷額	→ 5,509 百万円 (H26)	↓ 103.88%

企業を呼び込む

- I 企業が求める人材の確保・育成
 ◆企業と人材のマッチングの支援や企業活動を担う人材の確保・育成

ジョブカフェおおいた日田サテライト登録者の市内企業への就職者数（累計）	↓ 119人	↓ 66.11%
求職者資格支援事業利用者の市内就職者数（累計）	↓ 15人	↓ 50.00%

II 企業誘致の推進

- ◆企業ニーズに応じたきめ細かな誘致活動の推進
 ◆企業誘致と地場企業との関係強化の促進

日田市工業連合会会員企業数	↑ 233社	↑ 100.43%
既存誘致企業の増設及び新規立地件数（累計）	→ 6件	↓ 120.00%
企業誘致等による新規雇用者数（累計）	↓ 96人	↓ 228.57%

チャレンジする地場企業と創業を支援

- I 新たな事業や規模拡大にチャレンジする地場企業への支援
 ◆経営基盤の安定強化及び販路開拓への支援
 ◆新技術及び新商品の開発等への支援
 ◆ヒト・モノ・カネの域内循環等の推進

日田市ビジネスサポートセンターの年間相談回数 新	637回	88.47%
商工会議所・商工会の年間窓口相談件数	↑ 1,957 件	↑ 108.72%
市の融資制度の年間融資件数	↓ 100件	↓ 66.67%
商店街の平均空き店舗率	↓ 15%	↓ 未達成

II 創業者への支援

- ◆創業者育成の支援
 ◆創業に対する資金支援制度の充実

日田市ビジネスサポートセンターの支援による創業者数（累計） 新	16人	61.54%
開業資金の新規融資件数（累計）	↑ 4件	↑ 100.00%
女性若者企業支援資金の新規融資件数（累計）	↓ 7件	↓ 35.00%

III 技術者の育成

- ◆建築技能等の継承支援

技能検定の年間合格者数	↓ 119人	↓ 74.83%
日田共同高等職業訓練校の年間入学者数	↑ 6人	↑ 120.00%
看護師等人材確保推進事業で市内病院等への就職者数（累計） 新	30人	125.00%

基本目標2 日田市への新しい人の流れをつくる

社会増減

↑△389人

↑ 85.60%

ふるさと「ひた」へ回帰する人の流れ

- I ふるさと教育の推進
 - ◆地域社会と関わるキャリア教育の推進
 - ◆子ども自らが考え実行する体験活動等に対する支援
 - ◆年齢に応じた木育の推進

地域の行事に参加している児童の割合	↑88.20%	↑101.38%
-------------------	---------	----------

- II ふるさと就職の推進
 - ◆Uターン者の地元就職の支援
 - UIターン者雇用促進支援事業

UIターンによる年間就職者数（累計） 新	8人	80.00%
--	----	--------

「ひた」に住みたくなる人の流れ

- I 日田で暮らし福岡都市圏等で学び働く環境の整備
 - ◆通勤・通学時間帯における公共交通機関の利便性の向上
 - ◆福岡都市圏住民へのひた移住のPR推進

日田から福岡都市圏・久留米圏域間を公共交通で通勤・通学するもの	↓ 111人	↓ 73.03%
---------------------------------	--------	----------

II 移住支援の充実

- ◆総合的な移住定住相談窓口の設置、ひたの魅力等の情報発信
- ◆移住者の地場企業への就職の支援
- ◆お試し田舎暮らし体験等を通じ地域住民との良好なコミュニティの形成を支援
- ◆移住を積極的に受け入れる集落等を支援

UIターンによる年間就職者数（累計） 新 【再掲】	8人	80.00%
移住奨励金制度を活用した移住者数（累計） 新	189人	94.50%

III 空き家活用等による住環境の整備

- ◆空き家購入、改修等の補助制度の充実
- ◆長期未利用の市営住宅の活用による移住住居の確保
- ◆木造1戸建て等の整備

移住ひた暮らし支援制度を活用した移住者数（累計）	↑ 29人	↑ 145.00%
--------------------------	-------	-----------

IV 高等教育機関の誘致

- ◆職業教育高等機関等の誘致活動の推進

「ひた」を訪ねたくなる人の流れ

- I 地域資源の活用による交流人口の増大
 - ◆天瀬・大山・奥日田観光の推進
 - ◆コンベンションやスポーツイベント等による誘客の推進
 - ◆地域資源を活用した産業観光事業の推進
 - ◆水郷ひたの清流復活

天瀬・大山・奥日田地域への年間入り込み数	↓ 2,142,782人	↓ 77.08%
スポーツイベント推進事業年間参加者数	↓ 4,086人	↓ 96.14%
コンベンション年間誘致数	↑ 28件	↑ 77.78%
産業観光年間視察団数 新	0団体	0%

II シティセールスの強化

- ◆ICTを活用した積極的、戦略的な情報発信
- ◆ふるさと納税の促進とひた応援ふるさと市民制度の充実
- ◆2019ラグビーワールドカップ等のキャンプ地誘致活動の推進
- ◆日本遺産となった咸宜園の魅力発信による観光振興・地域活性化の推進

全国知名度ランキング	↓ 437位	↓ 未達成
市ホームページ観光サイト年間閲覧数	↑ 256,571回	↓ 75.46%
ふるさと納税年間寄付額	↑ 119,944千円	↑ 239.89%

III 訪れた人が満足する受入体制の拡充

- ◆おもてなし事業の推進
- ◆観光客目線のわかりやすい案内板の設置
- ◆観光客が満足できる観光施設の運営

年間観光入込客数	↓ 3,831,582人	↓ 81.92%
ご当地コンダクター（有料ガイド）年間利用者数	↓ 2,427人	↓ 75.84%

IV インバウンド（外国人観光客の誘致）対策の強化

- ◆外国人向け情報発信と受け入れ態勢の強化
- ◆多言語観光案内サインの整備
- ◆滞在型外国人向けのツアーの推進

外国人年間宿泊数	↓ 91,231人	↓ 138.23%
----------	-----------	-----------

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合
の合計特殊出生率

↗ 1.79

↗ 101.70%

結婚し子どもを生み育てる若い世代の人生設計を応援

I 結婚活動の支援

- ◆多様な出会いの場の創出に対する支援

婚活イベント数

↗ 4回 ↘ 80.00%

II 安心して子どもを生み育てられる環境の充実

- ◆不妊治療に対する支援の充実
- ◆妊娠、出産に対する支援の充実
- ◆子育てに対する支援の充実
- ◆小児科医の確保と夜間等の医療体制の維持
- ◆多世代同居の住居の新築・リフォームに対する支援
- ◆ワーク・ライフ・バランスの推進等子育てと仕事の両立支援

子育ての環境や支援への満足度

—

—

予防接種モバイルサービス新生児登録率

新
58.20%

116.40%

ハローワーク日田管内の育児休業年間取得者数

↑ 202人

↑106.32%

未来を拓く子どもたちを応援

I 子どもたちの能力を見出し輝かせるための支援

- ◆子ども咸宜園塾の推進
- ◆確かな学力の育成

授業が好きだと思う児童（小5、4教科平均）の割合

↘ 62.60% ↘ 91.39%

授業が好きだと思う生徒（中2、5教科平均）の割合

↑ 55.90% ↑ 100.18%

II 安心して学べる環境の充実

- ◆教育的ニーズに対応した支援体制の構築
- ◆教育費に係る保護者負担軽減の推進
- ◆コミュニティ・スクールの推進

全児童生徒数に占める「不登校」の比率

↑ 0.97% ↑ 達成

他市と比較し、補助教材購入を支援する体制が充実していると思う保護者の数

↘ 97.70% ↘ 97.70%

基本目標4 人が共に支え合い、安全・安心で快適に暮らせる地域を創る

お達者年齢

※大分県では要介護2以上に認定を受けていない方を日常生活が自立しているとみなし算出

↑ 男性 78.09歳
↓ 女性 83.17歳

↑ 男性 100.49%
↓ 女性 99.58%

人口減少社会を克服し、みんなが元気で安心して暮らせる地域をつくる

I 定住自立圏の形成の促進

- ◆定住自立圏構想の推進

定住自立圏共生ビジョンの策定	→ H27 策定済	→ 100.00%
----------------	-----------	-----------

II 地域公共交通の維持・確保

- ◆地域の実情に即した生活交通サービスの確保と効率的な運用
- ◆利用しやすい市内循環バスの運行

コミュニティバス等の年間利用者数	↑ 180,234人	↓ 96.92%
------------------	------------	----------

III 自立した地域経営の推進

- ◆地域づくりリーダーの育成支援
- ◆地域おこし協力隊制度の活用等によるコミュニティ活動等の活性化
- ◆新たな住民自治体制の構築・支援

地域おこし協力隊及び集落支援員数(年間)	↑ 15名	↓ 88.24%
----------------------	-------	----------

新たな住民自治組織	新	0団体	—
-----------	---	-----	---

IV 健康増進と充実したシニアライフの推進

- ◆運動や食育の推進等、健康寿命延伸の取り組み
- ◆高齢者のそれぞれの知識や能力等に応じた就労機会の確保や社会参加、生きがいづくりへの支援

国民健康保険一人当たり医療費	↓ 速報値 13番目	↓ 未達成
----------------	---------------	-------

脳血管疾患年齢調整死亡率(対10万人)	↑ 男性 46.5人 ↑ 女性 29.6人	↑ 男性 106.45% ↑ 女性 109.80%
---------------------	--------------------------------	------------------------------------

日田氏シルバー人材センターの就業率	↑ 70.70%	↑ 101.00%
-------------------	----------	-----------

V 大規模災害等に備えた地域づくりの推進

- ◆自助・共助・控除の連携による地域防災機能の強化
- ◆災害時の機能的な行政組織の構築
- ◆豪雨時における雨水排水(内水)対策の検討及び推進

防災土延べ養成者数	↑ 406人	↑ 98.07%
-----------	--------	----------

人口減少社会に対応した自治体経営を推進

I 自治体経営システムの推進

- ◆市民の参画と協働による自治体運営の推進
- ◆公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントの推進

自治基本条例アクションプラン達成割合	—	—
日田氏公共施設等総合管理計画の策定	↑ 策定済	↑ 100.00%